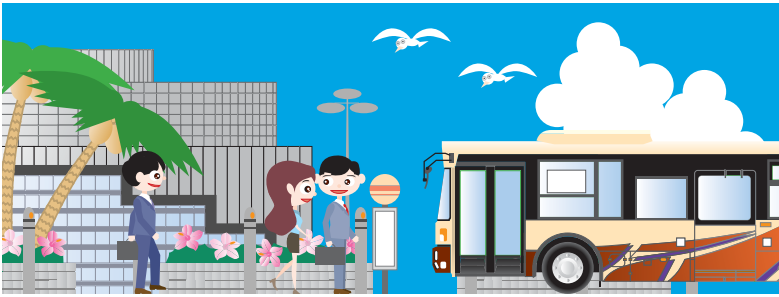
ふそう月より情報

2007 SUMMER



FUSO 75

FUSO

燃費の実力が、環境への道も拓く。

物流を担う大型トラックが直面する課題を、より高い次元でクリアするために。スーパーグレートは、ディーゼルの新たな可能性を拓く、ニューエンジンシステムを搭載。燃費効率を一段と高めた独自のエンジン燃焼技術と尿素SCRシステムが、燃費の向上と地球環境をも考えた低CO_2・低排出ガスの、すべてをかなえた革新性能を実現します。これからのビジネスに勝つために生まれた新型スーパーグレート、進化した実力をいまその手に。

すべてを革新していく力をいま。

SUPER GREAT 誕生

経済輸送にパワーを与える、新世界基準ディーゼル。

コンセプトはクリーン&低燃費。

高出力と低燃費が特長の直6インタークーラーターボエンジンを搭載。独自技術のMIQCS燃焼や、コモンレール式燃料噴射システムに加え、新環境技術の高精度クールドEGRシステムを採用しクリーン性能と燃費の向上を追求しました。

6M70（T3）エンジン

現行車なみの実用燃費性能*。

平成17年（新長期）排出ガス規制においてNOx・PMの10%低減レベルを達成。低排出ガス重量車に認定されました。さらに、ニューエンジンと低燃費型ドライブラインにより、実用燃費でも現行車と同等レベルの高い経済性を確保しています。

*FU GVW25t 279kW（380PS）カーゴ車、同条件下での社内試験値。実際の燃費は運転・道路・気象など諸条件により異なります。

ディーゼルの未来を拓いた、新環境技術「尿素SCRシステム」。

新技術でディーゼルの未来へ。

スーパーグレートは、排出ガス後処理技術として世界的にも採用の進んでいる、尿素SCRシステムを搭載。DPFに比べて燃費への影響が少ないため、ディーゼル車の特長である「低燃費・低CO_2」をさらに引き出す技術として注目を集めています。

尿素水タンク

低排出ガス・低CO_2の追求*。

尿素SCRシステムは、エンジン本体側で完全燃焼に近づけPM発生を徹底的に低減。PMの代わりに増加するNOxは、マフラー内の尿素水添加式の触媒で分解・除去します。エンジンの燃焼効率向上により、低排出ガスのみならず燃費向上とCO_2排出低減も同時に実現しました。

*FU GVW25t 279kW（380PS）カーゴ車、同条件下での社内試験値。

快適な夏のドライブのために

暑さを乗り切る 点検&整備を!!

暑〜い夏は、人間がバテるのと同様にバッテリーにも厳しい季節。エンジンルームの高温化、エアコンの多使用など、バッテリーには想像以上の負担が掛かります。思わぬ場所で“バッテリーあがり”といったトラブルに遭遇しないためにも、液量やターミナル部の点検・整備はしっかりと行いましょう。またオーバーヒート対策のため、冷却水量などラジエター周りの点検やファンベルトのメンテナンスもお忘れなく!

4-5ページ 運行前の点検が事故を未然に防ぐ! **日常点検チェックシート**

6ページ 安全・安心にお使いいただくために! **覚えておきたいこと**

7ページ 環境と経費節減のための新燃費基準! **平成27年度重量車燃費基準**

8-9ページ 多発する大型車の事故防止点検義務! **自動車点検基準改正**

10-11ページ 三菱ふそう独自のサービス! **オリジナル点検サービス**

温冷庫プレゼント!! 詳しくは10〜11ページをご覧ください。

「安全」「安心」のための運行前チェックリスト

日常点検（運行前）チェックシート

日常（運行前）点検

法令で決められた項目です。運行前に必ず点検を行いましょう。

車を運行する際は、安全確認のために必ず点検を行いましょう。点検作業は、運転席に座わる、エンジンルームをのぞく、車の周りを回りながら確認するなど、簡単に行えます。このページは点検時にそのままチェックシートとして使用できますので、コピーのうえ、ぜひご活用ください。また4月の法改正により、ディスク・ホイールの取付状態の点検が義務づけられました。より安全な運行のためにも、徹底した日常点検を心掛けましょう。

まず最初に

前日または前回の運転中に異常を認めた箇所は、運行に支障がないかを必ず点検します。

運転席での点検

点検個所	点検項目	チェック
ブレーキペダル（バキュームサーボブレーキ車）	踏みしろ	□
	ブレーキのきき	□
ブレーキバルブ（エアーオーバー車、エアブレーキ車）	排気音	□
駐車ブレーキレバー	引きしろ（ホイール・パーク式ではエアの排気音）	□
エンジン	かかり具合と異音*	□
	低速及び加速状態*	□
空気圧力計（エアーオーバー車、エアブレーキ車）	空気圧力の上り具合	□
	空気圧力	□
ブレーキのリザーバタンク	液量	□
ウィンドウォッシャ及びワイパー	ウィンドウォッシャの液量と噴射状態*	□
	ワイパーのふき取り状態*	□
座席（バス）	シートの損傷・取付状態	□

点検の結果異常があった場合は、三菱ふそうのサービス工場または自動車整備事業者にご相談ください。

エンジンルームの点検

点検個所	点検項目	チェック
ラジエータなどの冷却装置	水量*	□
潤滑装置	エンジンオイルの量*	□
ファンベルト	張り具合*	□
	損傷*	□

車の周りから

点検個所	点検項目	チェック
ホイール（大型車）	ナット	
	脱落	□
	緩み	□
	ボルト	
	折損	□
	錆汁	□
	ホイールナットからの突出量が均一か	□
タイヤ	空気圧	□
	亀裂、損傷	□
	異常な摩耗	□
	金属片、石などの異物	□
	溝の深さ*	□
灯火装置・方向指示器	点灯、点滅具合	□
	汚れ・損傷	□
	超音波センサの汚れ・損傷（レベリングシステム付車）	□
バッテリー	液量*	□
エアタンク（エアーオーバー車、エアブレーキ車）	タンク内の凝水	□

4月の法改正により変わりました。 詳しくは8～9ページへ

*走行距離及び運行時の状態等から判断した適切な時期に行ってください。

覚えておきたい ①

エアサスハイトコントロール使用時のご注意

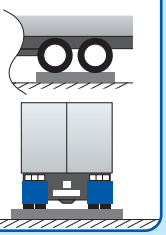
エアサスハイトコントロールは、使い方を誤ると足回り部品（ショックアブソーバ）が損傷する恐れがあります。使用する際は、次の2点に注意し、車両が動き出さないよう平坦な場所で行いましょう。

注意

- ●後2軸車の場合は、片輪もしくは片軸が浮き上がる状態にしないでください。
- ●タイヤの下に踏台を使用する場合は、後前軸、後々軸のすべてのタイヤが同じ高さになるよう設置してください。

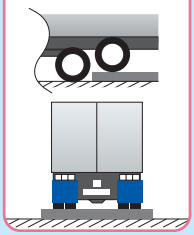
良い例

後前軸と後々軸の左右輪とも、踏台の高さが同じ。



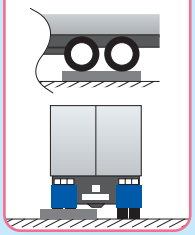
悪い例

後前軸と後々軸で、踏台の高さが違う。
（図は後々軸のみ踏台を使用した場合）



悪い例

左輪と右輪で、踏台の高さが違う。
（図は左輪のみ踏台を使用した場合）



※その他の注意事項は、車載の「SUPER GREAT」取扱説明書本冊子に記載の「エアサスハイトコントロール」の項目をご確認ください。

※ご不明な点は、お近くの「三菱ふそう販売店」または「サービス工場」へお問い合わせください。

重量物取扱時の注意！

クレーンやフォークリフトなどで重量物を一度に降ろす場合は、車高を一番下まで下げてください。そのままの状態で作業を行うと、車高が急上昇し、足回り部品（ショックアブソーバ）が損傷する恐れがあります。

覚えておきたい ②

電子ガバナ搭載車 スタータスイッチ損傷のご注意

'95年型以前の大型トラック（ザ・グレート）*

*アイドルボリュームに上記のマークがある車両

電子ガバナ搭載車は、スタータスイッチの使用頻度が高い場合、また長期間車両を使用した場合に、キースイッチ内部の接点部が摩耗することがあります。この状態で駐車・離車時にキーをACCまたはONのままにしておくと、スタータが回転してしまい、エンジンクランキングにより車両が動いてしまう恐れがありますので注意してください。

！ 駐車・離車する際は、必ずキーを抜いてください。

！ 駐車時は、パーキングブレーキレバーをしっかり引いてください。

キー操作時に渋りがある場合、キースイッチがACCの位置でメータークラスターのウォーニングランプが点灯した場合は、キースイッチ内部の摩耗が考えられます。
お近くの三菱ふそうサービス工場に、点検・交換を依頼してください。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO_2）を削減するため、日本を含めた先進国には省エネのための努力義務が設けられています（京都議定書）。そして新しく施行された改正省エネ法では、国内運輸部門の重量車によるCO_2排出量が環境に大きな影響を与えるものとして、新たな燃費基準を設けました。経費節減にもつながるエコドライブで、環境保護を心掛けましょう。

「平成27年度重量車燃費基準」とは？

自動車メーカーが平成27年度までに達成しなければならない燃費性能の基準値。平成27年度以降の国内に出荷するディーゼル重量車［GVW3.5トン超の大型トラック・トラクタ・バス（乗車定員11人以上）］については、駆動方式や架装に関係なく車両の加重調和平均燃料費*が目標基準値を達成しなければなりません。

*各区分ごとに燃費値を出荷台数で加重調和平均した値。

三菱ふそうの適合車種
新型スーパーグレート
（トラクタの一部のみ）

平成27年度の目標基準値

●トラック（トラクタ以外）

区分	車両総重量範囲	最大積載量範囲	目標基準値（km/ℓ）
1	3.5t超～7.5t以下	～1.5t以下	10.83
2		1.5t超～2t以下	10.35
3		2t超～3t以下	9.51
4		3t超～	8.12
5	7.5t超～8t以下		7.24
6	8t超～10t以下		6.52
7	10t超～12t以下		6.00
8	12t超～14t以下		5.69
9	14t超～16t以下		4.97
10	16t超～20t以下		4.15
11	20t超～		4.04

●トラクタ

区分	車両総重量範囲	目標基準値（km/ℓ）
1	～20t以下	3.09
2	20t超～	2.01

●路線バス

区分	車両総重量範囲	目標基準値（km/ℓ）
1	6t超～8t以下	6.97
2	8t超～10t以下	6.30
3	10t超～12t以下	5.77
4	12t超～14t以下	5.14
5	14t超～	4.23

●一般バス

区分	車両総重量範囲	目標基準値（km/ℓ）
1	3.5t超～6t以下	9.04
2	6t超～8t以下	6.52
3	8t超～10t以下	6.37
4	10t超～12t以下	5.70
5	12t超～14t以下	5.21
6	14t超～16t以下	4.06
7	16t超～	3.57

※路線バスと一般バスの違いは、客席シートベルト無し・有りで区別。

重量車の燃費改善による効果

重量車が目標基準値を達成すると、約12.2%*（台数・区分ともに同条件での比較推定値）の燃費が改善される見込みです。

*総合資源エネルギー調査会省エネルギー基準部会重量車判断基準小委員会・重量車燃費基準検討会の試算値。

燃費データのカタログ記載義務

低燃費車の普及促進を図るため、メーカーに対してカタログの主要諸元等に燃費データの記載が義務づけられました。

燃費基準達成車に与えられるメリット

燃費基準達成車を示すステッカーの配布、自動車取得税の軽減措置のほか、環境省の補助金制度が実施される予定です。

もうはじまっています！

自動車点検基準 改正

平成19年4月1日より、自動車点検基準が改正されました。
大型車は、近年多発している車輪脱落事故を防止するために、
ディスク・ホイールの取付状態の点検が
義務付けられています。

対象車両

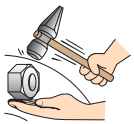
大型車 車両総重量8トン以上のトラックまたは乗車定員30人以上のバス

日常点検

① 目視での点検

- ホイール・ナットの脱落やホイール・ボルトの折損はないか。
- ホイール・ボルトのまわりに錆汁がでた痕跡はないか。
- ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの長さに不揃いはないか。

② 点検ハンマなどを用いての点検



- ホイール・ボルトの折損やホイール・ナットの緩みがないか、ホイール・ナットの下側に指を添えて点検ハンマでホイール・ナットを締まる方向に叩いたときに、指に伝わる振動が他のホイール・ナットと異なったり、濁った音がしないか。

3か月点検

① JIS方式のシングル・タイヤ及びISO方式のタイヤの場合

- トルク・レンチを用いるなどによりホイール・ナットを規定トルクで締め付けます。

② JIS方式のダブル・タイヤの場合

- ホイール・ボルトの半数（1個おき）のアウター・ナットを緩めて、インナー・ナットをトルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。
- 次に、緩めたアウター・ナットをトルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。
- その後、ホイール・ボルトの残りの半数のアウター・ナット及びインナー・ナットについても同様の措置を講じます。

JIS方式とISO方式のナットの形状

JISタイプのナット

ISOタイプのナット

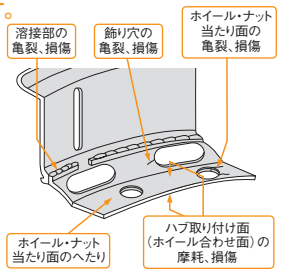
締め過ぎにご用心!! 「締付トルク」の重要性

整備解説書の各整備項目には、必ず「締付トルクの規定値」が示されています。ご自身でメンテナンスされる際、ナットを緩みにくくするため、つい必要以上の力でボルトを締め付けてしまいがちですが、これは大きな間違いです。ボルトには適正な「軸力」があり、それを大幅に超えるとボルトやネジ部が損傷し確実に締め付けることができなくなります。このような状態になると肝心の軸力が発生せず、締付トルクが規定値以下の場合と同じ状態になってしまいますので注意しましょう。締付トルクは高くても低くてもNG、整備書の規定値に従って締付を行ってください。

12か月点検

① ディスク・ホイールを取りはずして行う点検

目視などにより次の点検を行います。



- ホイール・ボルト及びホイール・ナットに亀裂や損傷がないか。
- ホイール・ボルトに伸びはないか。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットにさびの発生はないか。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットのねじ部につぶれ、やせ、かじり等の異状はないか。
- ディスク・ホイールのボルト穴、飾り穴のまわり及び溶接部に亀裂及び損傷がないか、ホイール・ナットの当たり面に亀裂、損傷及びへたりがないか。
- ディスク・ホイールのハブへの取付面、ディスク・ホイールの合わせ面に摩耗や損傷がないか。

② ディスク・ホイールを取り付ける際に行う点検

- ディスク・ホイールのハブへの取付面、ディスク・ホイールの合わせ面、ホイール・ボルト及びホイール・ナットのねじ部等を清掃し、さび、ゴミ、泥、追加塗装等の異物を取り除きます。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットの潤滑。

JIS方式 ホイール・ボルト及びホイール・ナットのねじ部並びにホイール・ナットの当たり面に規定の油類を塗布します。

ISO方式 ホイール・ナットねじ部及びホイール・ナットとワッシャとの間にのみ規定の油類を塗布します。

- ホイール・ナットの締め付けは、対角線順に2～3回に分けて行い、最後にトルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。
- インパクト・レンチで締め付ける場合は、締付時間、圧縮空気圧力等に留意し、締めすぎないように十分注意を払い、最終的な締め付けは、トルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。

③ 注意事項

- JIS方式のダブル・タイヤの場合は、インナー・ナットについて、[1]ディスク・ホイールを取りはずして行う点検及び[2]ディスク・ホイールを取り付ける際に行う点検を行った後、アウター・ナットについてインナー・ナットと同様に点検を行います。
- ディスク・ホイールの取り付け後、ディスク・ホイールの取付状態に適度な馴染みが生じる走行後（一般的に50～100km走行後が最も望ましいとされています）、8ページの3か月点検に示す方法でホイール・ナットを締め付けます。
- 誤組防止のため、ディスク・ホイールの種類（スチール製、アルミ製）に合ったホイール・ボルト及びホイール・ナットを使用してください。

より 安全・安心 なドライビングを!

VOL.1

三菱ふそうのオリジナル 点検サービス

※掲載の点検サービスは、有料となりますのでご了承ください。

三菱ふそうでは、ドライバーの安心と安全を考えた
独自の点検サービスを行っています。
今号から快適な運行のための点検サービス情報を
紹介していきますので、
車検や定期点検時などに
併せてご利用ください。

ホイールハブベアリングのプレロード調整

ハブベアリングのプレロードを適正値に調整します。ホイールハブ&ブレーキドラムを3回転以上させながら規定トルクまでロックナットを締付け、ばねばかりで接線力を測定します。

実施時期: 該当作業発生時

対象車種

トラック	バス
大型	大型
中型	中型
小型	小型

ディスク・ホイールのボルト・ナットの点検

ホイール・ボルトおよびホイール・ナットに亀裂や損傷、錆がないか目視などにより点検するとともに、ホイール・ナットの締め付け点検を実施します。

実施時期: ホイール脱着時 3か月

対象車種

トラック	バス
大型	大型
中型	中型
小型	小型

Vロッドボールスタッド部のガタ点検

ボールスタッド部ブーツの損傷やグリス漏れを点検し、またダイヤルゲージとバー等を使用し、ボールスタッド上下方向のガタ量を計測します。ブーツに異常がある場合やガタ量の測定値が限度以上の場合は、Vロッドを交換します。

実施時期: 当面入庫全車両

対象車種

トラック	バス
大型	大型
中型	中型
小型	小型

コンパニオンフランジ部のガタおよび緩み点検

トランスミッション後端のコンパニオンフランジとメーンシャフト間にガタがないか点検します。ガタがある場合は、ロックナットの緩みとコンパニオンフランジとメーンシャフトのスプライン部を点検、摩耗等の異常がある場合は不良部品を交換します。

実施時期: 12か月 (3か月*)

対象車種

トラック	バス
大型	大型
中型	中型
小型	小型

*走行距離が1か月に10,000km以上や走行距離の30%が悪路などといった厳しい使われ方(シビアコンディション)の場合。

エンジン燃料噴射管クランプ点検

噴射管の損傷、各ナットの緩みやクランプの摩耗、脱落、取り付け忘れのほか、各パイプからの燃料漏れ等を点検します。異常がある場合は不良部品を交換します。

実施時期: 3か月 12か月

対象車種

トラック	バス
大型	大型
中型	中型
小型	小型

これからの季節に 大活躍の

ご応募いただいた方の中から
抽選で25名様に

容量20リットルの大きさで持ち運べる

温冷庫プレゼント

締め切り 平成19年7月14日(当日消印有効)

※三菱ふそう関係者は応募できません。

FREEGO

2電源式 AC100V&DC12V

- デジタル庫内温度設定ボタン。
- ワイン保冷設定ボタン付(14℃)
- 保温、保冷がスイッチひとつで切り替わる。

■応募方法

官製ハガキに『耳より情報 温冷庫プレゼント応募』と明記のうえ、お名前、勤務先(会社名・住所・郵便番号・電話番号)、商品引換えに利用される三菱ふそう販売店名と支店・営業所名を必ずお書きください。さらに本誌に対するご意見や取り上げてほしい話題などをお書きのうえご応募ください。(記載された支店・営業所でのみ商品引替えができます。)

■応募宛て先

〒104-8172 東京都中央区築地一丁目13番1号
株式会社アサツー ディ・ケイ内
『三菱ふそう 耳より情報』事務局宛

※当選者発表は、引換券の発送(勤務先にお送りします)をもちましてかえさせていただきます。引換券が届きましたら、記載いただきました販売店の支店・営業所までご連絡ください。
※ご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送以外の目的では利用いたしません。

QRコードで ラクラク検索!

お近くのサービス拠点を携帯電話で簡単に調べられます。カメラ付携帯電話でQRコードを読み取れば、検索ページにラクにアクセス!

※QRコードに対応していない機種の場合は、下記のURLを直接入力してください。
http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/i/index.html

ひとくちNAVI

快適な睡眠は食事から “眠りたくなる”食べもの

長距離ドライバーの方のように睡眠時間が限られている場合、安全運転のためにも効率良く眠りに入りたいものです。世の中には不眠解消のためのグッズなどがありますが、わざわざ購入してまで使用する人は少ないのではないでしょうか。

そこで、毎日の“食事”に採り入れられる身近な食べものを紹介しましょう。それは、みなさんご存知の野菜「タマネギ」です。タマネギに含まれるビタミンB1は、不眠症の原因となる自律神経のバランスを整え血液循環を高めます。そして新陳代謝を活発化し、スムーズな睡眠効果を促します。さらにビタミンB1の吸収を高める成分も含んでいるため、豚肉などと一緒に食べるとより効果的です。ただし、タマネギの成分には熱を加えると壊れやすくなるものもありますので、サラダなど“生”で食べることを心掛けてください。

どうしても食べるのが苦手という人は、眠るときにタマネギを置いてみましょう。タマネギの匂い成分が副交感神経を刺激し、安眠効果を促すようです。休憩する際など、試してみてはいかがでしょうか。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com